

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

新型コロナウイルス感染拡大予防を行いながら練習会・大会を開催する為に、公財)日本スポーツ協会作成の令和2年5月14日付「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を参照し、以下のとおり対応する。

●大会開催において

1. 大会要項の注意事項

以下を周知する

- ①感染予防の為に、マスクを持参する事。
- ②大会当日に体調不良を感じた場合は、無理をせず欠席する事。
- ③欠席した選手は、後日、所属協会から「体調申告書」を、大会エントリー担当者に提出する事により、参加費を免除される。

2. 大会当日

- ①入場口に手指消毒用のアルコールまたは微酸性電解水を配備する。
- ②ウエイティングライン後方の選手待機エリア、DOS席に、手指消毒用のアルコールまたは微酸性電解水を配備する。
- ③入場担当は、飛沫感染防止の為に、フェイスシールド（またはセーフティゴーグル）とゴム手袋を着用する。
- ④入場時、手指消毒を行い、担当役員による検温を受ける。（入場者全員）
担当役員は体温を「体調申告書」に記入し、選手又は役員に渡す。
- ⑤選手は「体調申告書」を記入の上、参加費を添えて受付する。
「体調申告書」に、一つでも「有」または、体温が37.5℃以上の者は、大会に参加することは出来ない。また、競技場内に留まることも出来ない。
この場合、選手に参加費の徴収を求めない。
- ⑥会場設営、行射中、会場後片付け以外はマスク着用する。
但し、暑さ指数(WBGT)が、28℃以上(厳重警戒以上)に達した際は、熱中症予防の為に、マスク着用を求めない。
- ⑦マスクを未着用の場合は、咳エチケット、会話する際の距離、に特に注意する事。また、応援等で大声を出さない事。
- ⑧左利きの選手が、右利きの選手と正対しない様に、大会運営役員は、立順調整を行う事。
(正対した場合は、間に1人以上空けるようにする。)
- ⑨スコープの共有は、感染予防の観点から、極力避けること。
- ⑩確認用記録は掲示場所を増やし、密集を予防する。

3. 夢の島公園アーチェリー場●付則

- ①入場者は会場に掲示してある「東京版 新型コロナ見守りサービス」チラシにて、入場登録を行うこと。
- ②提出された体調申告書は、感染拡大予防管理の目的で、夢の島公園アーチェリー場にて1ヶ月保管する。

●各協会における対応指針(参考案)

- ①消毒用のアルコールまたは微酸性電解水を配備する。
- ②行射中以外はマスクを着用を推奨する。
但し、熱中症予防も考慮し、マスク着用を求めない場合の諸条件も考慮しておく事。
- ③左利きの選手が、右利きの選手と正対しない様に、立ち位置の調整を行う事。
(正対する場合は、十分な距離を空けるようにする)
- ④屋内の施設を利用する場合は、窓・ドアを開放して、密閉状態を回避する事。
但し、開放による事故発生を未然に防止するために、安全管理(矢の飛び出し、行射中の外部者の立ち入り等)には充分考慮し、必要な安全対策を施す事。
- ⑤その他の条件は施設管理者の指示に従う事。